



[概要版レポート]

第4回 スタジアムパーク構想未来会議

2023年4月14日(金)14:00～15:30

第4回 スタジアムパーク構想未来会議

概要

日時：2023年4月14日(金) 14:00～15:30

場所：ベガルタ仙台本社事務所 3階会議室

参加者



氏名	所属および役職等
----	----------

小田 隆史 (座長)	東京大学大学院 総合文化研究科 准教授
------------	---------------------

遠藤 雅夫 (副座長)	ベガルタ仙台・市民後援会 事務局次長
-------------	--------------------

三船 博庸 欠席	ベガルタ仙台・市民後援会 理事長兼事務局長
-----------------	-----------------------

植竹 清美	ベガルタ仙台ボランティアクラブ 代表
-------	--------------------

天野 和彦	東北学院大学 教養学部 地域構想学科 准教授
-------	------------------------

田中 秀夫	せんだい泉エフエム放送株式会社 取締役 事業部長
-------	--------------------------

遠藤 宏美	株式会社ジェイコム埼玉・東日本 仙台局 地域プロデューサー /一般社団法人 泉青年会議所 地域連携強化委員会 運営幹事
-------	--

畑 義信 ☆	7DAYS, Peace. (七北田公園活性化協議会) 副代表/仙台IZUMIフードリンクラブ 相談役 /株式会社カルティベイトダイニング 代表取締役
--------	--

赤坂 由人 ☆	株式会社ライズ・コンサルティング・グループ パートナー
---------	-----------------------------

☆はオンライン参加 ※敬称略

オブザーバー：仙台市

アジェンダ

① 前回会議の振り返り・今後の進め方

前回：スタジアム本体中心の議論から、まちづくりの観点への移行。

ビジョン・コンセプトの策定など

今後：未来会議の開催頻度を上げ、1ヶ月に1回のペースへ。

→ 若い世代、地域で活動する事業者の方々など、多様なステークホルダーからお話を聞き、仙台市への提言に組み込む。

② ゲストプレゼン

みやぎ仙台商工会理事 商業部会長 大久保 博信 氏

「泉中央駅前地域づくりに向けた要望」をベースに、地元の民間事業者、住民目線からのアイデアを共有。

→ 泉区役所の建替えを機に、周辺地域との連携や、交通状況の改善案などをまとめたもの。

→ みやぎ仙台商工会から泉区役所に提出済み。

スタジアムパーク構想をまちづくりの観点で考えていくにあたり、南北軸の連携について意見交換。

② ゲストプレゼン

「泉中央駅前地域づくりに向けた要望」について

みやぎ仙台商工会理事 商業部会長 大久保 博信 氏

資料－1

新泉区役所庁舎とおへそ広場をつなぐ地下ライブ型ストリート等を新設し「365日」アクティブな活動を引き起こす地域づくりを目指す

泉中央駅前地域づくりに向けた要望

要望の経緯【仙台市基本計画 2021-2030・区ごとの地域づくりの方向性を指針に要望案をまとめる】

5区の中で、泉区にみられる特性から目指すまちづくりの方向を探る

前提

1

地域コミュニティの基盤がある

○高齢人口割合が高い、○早めに人口減少へ、○町内会の加入率が高い、○要介護出現率が低く元気な高齢者が多い。

2

泉区の特性より

大学の知的資源がある

2023年に東北学院大学が泉キャンパスの移転が予定だが、区内・近隣に多くの大学の知的資源が集積している。

3

泉中央及び周辺地域が都市機能と豊かな自然が調和している

泉中央駅前地域内に文化・スポーツ・子育て支援施設・商業施設・高層集合住宅等、都市機能が集中している。七北田公園と七北田川があり、豊かな自然と共存した都市構成である。

目指すまちづくりの方向

日ごろ感覚でとりくめる「365日クリエイティブなコミュニティ場」へ

- 1、多様なコミュニケーションを育む** シニアに蓄積された社会的パワーを発揮すべき公民、両施設や団体、商工者とマッチングによる創造的、かつコミュニティを生み続ける活躍場が日常的に365日使える。
- 2、コミュニティビジネスを育む** 大学の知的資源や若者の独自の発想と行動力の新たな活躍場と情報発信が都市機能の中に求められる。かつ、地元農家や企業とコラボした事業の発表の場などにも使える。
- 3、「杜の都仙台」の都市型観光づくりを** 泉中央及び周辺地域内に、個々に存在する文化・スポーツ・子育て支援施設・商業施設・高層集合住宅等都市機能と七北田公園と七北田川を回遊路としてつなぎ、自然環境の中で日常的な暮らし方や芸術文化活動・スポーツなどが求められ、「杜の都仙台」の独自な都市型観光として魅力創出ができる。

② ゲストプレゼン

内容 (概要版)

・提案の2つのポイント

- ① にぎわいの創出 ② 混雑緩和・解消

→ 相反する2つだが同時に考えた上で、「365日楽しめる空間」をつくっていきたい。

・「仙台市基本計画2021-2030(令和3年3月:仙台市まちづくり政策局政策企画部 政策企画課)」

“区ごとの地域づくりの方向性”をもとに、泉区が抱えている課題の解決を中心に考えた。

要望に向けた問題と解決視点

目指すまちづくりの方向から、現状の問題解決-新設と活動に向けた視点

視点

1-a 一期に大量集客を担う大型店のマイイベントに類似しない機能の新設

駅前中央部(建て替えられる区役所庁舎から既存ショッピング街・バスプール)を「365日」日常的な暮らしの中でクリエイティブなコミュニティを育てていくため、多種多様な、個人の顔が見える身の丈サイズの交流活動『自発・共発』を基盤に、活動を誘発できる可変的機能を持つヒューマンスケールの新設を図りたい。かつ、これから増えるだろう集中豪雨や熱帯夜、冬の雪など様々な悪天候の影響を受けにくい全天候型のイベント実施可能な屋外ステージとしての新設を図りたい。

1-b 建て替えられる泉区役所庁舎とおへそ広場をつなぐ地下ライブ型ストリートの新設

建て替えられる区役所庁舎から既存ショッピング街・バスプールを分断させない、逆にまちの中心軸として相乗効果を発揮すべく、「365日」活動的なまちづくりを図りたい。そのためにも、歴史的に様々な文化や芸能、商業やコミュニティを生み育ててきた「日本の道空間」の特性を活かし、持続可能なクリエイティブな空間演出の起用。建て替えられる区役所庁舎からおへそ広場をつなぐ歩道-ライブストリートとして空間計画を図りたい。

1-c 各施設間をスムーズに移動できる全天候型の動線計画の新設

駅前中央部(建て替えられる区役所庁舎・駐車場から既存ショッピング街・バスプール)を分断させない、各施設間の移動をスムーズにできる利便性を考慮した動線を図りたい。悪天候に影響されない、ショッピングカート・ベビーカー・歩行困難者にも適応したフラットな歩道の動線計画であり、新設泉区役所庁舎をはじめ、エレベーターへの動線も図りたい。

駅前中央部を365日クリエイティブな活動と多様なコミュニティ

一を引き出す交流拠点へ

2、香り系草花を多用し泉中央駅前地域をポタニカル庭園として楽しく歩ける回遊路を図りたい

2-a 杜の都仙台として、緑豊かな七北田公園と七北田川に隣接した自然豊かで潤いのある泉中央駅前地域性を活かし、テーマ性のある観光都市として「ポタニカル庭園都市」を図りたい。泉中央駅前地域内にある文化・スポーツ・子育て支援施設・商業施設・高層集合住宅等と周辺小売店を緑と花の回遊路でつなぐ、四季折々「365日」楽しく歩けるまちづくりを図りたい。

2-b 杜の都仙台の副都心の独自の生態系と風土に基づき環境共生型のまちづくりを図りたい。

杜の都仙台のポタニカル庭園都市

とした新たな集客都市型観光へ

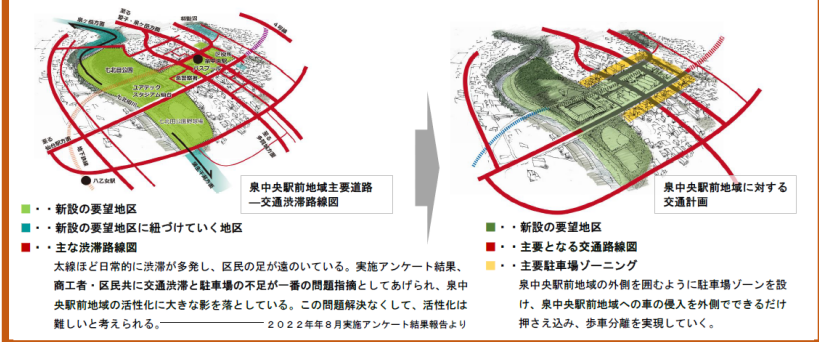


写真/泉区ポタニカルガーデン
仙台観光開発協会より提供

3、活性化を目指す泉中央駅前地域の交通渋滞と進む駐車場減少に歯止めをかけた

2022年8月、商工者及び区民によるまちづくり調査(1)において、回答意見として交通渋滞と駐車場への不満が8割以上を占めている。日常的に交通渋滞と駐車場不備問題により泉中央駅前地域から区民の足を遠のけている。駐車場の減少は今後も進み、無料駐車場完備で利便性の高く、農産品・買い物品ともにそろった郊外型大型志向が強くなり、また電子商取引による市場規模の拡大により中心商店街の空洞化問題も考慮しなければならない。渋滞緩和を避ける歩道橋設置やスムーズな駐車場へのアプローチ動線計画、商店街買い物による交通料金の格安化・駐車場料金の負担軽減化等も見直しを図りたい。

将来、泉区の活性化を明確に実現化を目指すために、高齢化・人口減少・電子商取引等要因による泉中央駅前地域への集客減少の危惧の念を超える抜本的な活性化視点と仕組みづくりから、泉中央駅前地域へアプローチし利便性の高い交通網整備が不可欠である。



② ゲストプレゼン

内容 (概要版)

具体的な要望とする全体構想と各新設イメージ案

駅前中央部 (建て替えられる区役所庁舎から既存ショッピング街・バスプール) をつなぐライブ型ストリート 断面計画図



365日、クリエイティブなコミュニティ場をみるめく奮起する全長200Mの全天候型ライブストリートを仕掛ける。

- 交通渋滞の解消 → 歩車分離の考え方 + 車を停めて歩いて来れるゾーニング
- 「歩いてみたい」と思えるような場所へ → 人、香り、風を感じられるような仕掛け
- 全天候型のライブストリート → 地下通路 + イベント会場 + 避難場所
→ 無機質なトンネルではなく、木立をイメージした装飾にするなどの工夫
- 自然環境を活かしたまちづくり → 歴史、風土性から樹木の配置などを考えていく
- 第2のおへそ広場の創出など

全体構想・・・「杜と水辺と花」をテーマとしたポタニカル庭園都市。新たな集客都市型観光へ 鳥観見取り図

二級河川七北田川水系河川整備計画(宮城県 平成30年1月)に示された山林の荒廃防止や遊水機能を有した土地の保全を図るとともに、今後の新たな土地利用を理解のもとに、新たな都市機能として河川空間の利活用・環境学習やレクリエーションの場としての活用



② ゲストプレゼン

委員からの質問・意見

- 地下を通すという発想はどこから？
 - 東日本大震災の際、避難場所として泉区役所が使われた。
 - 今後全国瞬時警報システム(Jアラート)が作動した際、どこに逃げる？待機する？という問題が出てくる。
 - 災害時の避難場所として、雨風を凌げて、交通弱者にも優しく、平常時はイベント等にも使用できるように、という思いから。
- 泉中央でイベントをやりたいという団体は多いので、この案は多くの面でメリットがありそう。
 - イベント時、出店者向けの駐車場を確保できる。
 - ブース等の出店がしやすい環境を整えばお店も増えて、区役所や駅の利用者も「歩いてみたい」という気持ち生まれる。
 - イベントを天候に左右されず実施できる。(実施側もお客さん側にもメリット)
- 豊かな自然環境を活かすというアイデアに魅力を感じた。
 - 長く住んでいる人ほど、意外とそこに気づいていないことも。
- 進め方について
 - どのようにスタジアムパーク構想と連携していくのか。
 - 同じテーマを持って進めても、分けて考えても、それぞれが良さを活かしていけるアイデアだと思う。
 - 逆にスタジアムにあるアセットを使って、それを泉区役所側にどうつなげていくか、というアプローチもあればより良いと思う。

等